第5講
西ヨーロッパ中世世界

〔1〕中世封建社会の成立

封建制度

「**封土**」の授受を中心に形成された主従（君臣）関係

双務的契約関係…相互に義務を負う主従関係

複数の主君に仕える契約も可

恩貸地制度（ローマ末期）・**従士制**（古ゲルマン）の結合

荘園…封建領主の支配地・経済的基盤

直営地（領主直営地）

保有地（農民保有地）

領主…国王・諸侯・騎士・教会・修道院など　**領主裁判権**

不輸不入権

農奴…**コロヌス**（ローマ末期）・没落したゲルマン自由民

・**賦役**（労働地代）・**貢納**（生産物地代）　**結婚税・死亡税**

・**十分の一税**（教会へ）

三圃制

〔2〕ローマ＝カトリックの発展

・アンティオキア・イェルサレム・アレクサンドリア…イスラームによる支配（７Ｃ）

・ローマ・コンスタンティノープル…首位権を争う

ローマ＝カトリック教会（**教皇**はペテロの後継者）

・レオ１世

アッティラ王（フン人）を説得・カルケドン公会議（451）

・**グレゴリウス１世**（位590 ～ 604）

ゲルマン人（アングロ＝サクソン）へ布教　→　カンタベリー大司教座設置

修道院

・ベネディクト派修道院（６Ｃ）

ベネディクトゥス…**モンテ＝カシノ**（中部イタリア）に建設

“祈り，働け”

・**クリュニー修道院**（10C．仏）

修道院運動の中心（11Ｃ以降）…聖職売買・聖職者の妻帯を批判

・シトー修道会（11C．仏）…荒野の開墾

・**托鉢修道会**（13C）

フランチェスコ修道会…アッシジ（イタリア）に設立

ドミニコ修道会（スペイン人ドミニコ）…南フランスに設立

叙任権闘争

・教皇**グレゴリウス７世**

…ドイツ国王（のちの神聖ローマ皇帝）**ハインリヒ４世を破門**（**カノッサの屈辱**（1077））

・**ヴォルムス協約**（1122）

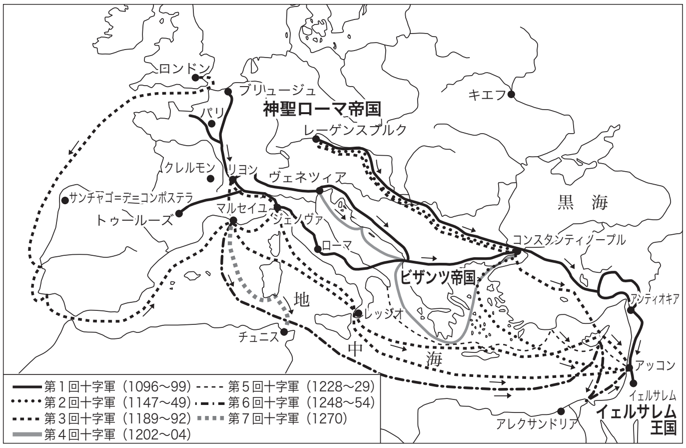
ウルバヌス２世…**クレルモン宗教会議**（1095）…**十字軍**の提唱

インノケンティウス３世

“教皇は太陽，皇帝は月”

・**第４回十字軍**・カタリ派（12C．マニ教の影響）に対するアルビジョワ十字軍の提唱・英王ジョンを破門

〔3〕**十字軍遠征**（1096 ~ 1291）**とその影響**



十字軍遠征

教皇ウルバヌス２世…**クレルモン宗教会議**（1095）で十字軍遠征提唱

第１回（1096 ~ 99）

聖地奪回　→　**イェルサレム王国**の建国

第３回（1189 ~ 92）

背景…**サラーフ=アッディーン（サラディン）**によるイェルサレム王国　奪回（1187）

英王リチャード１世（獅子心王）…サラディンとの戦いの末，和して帰国

第４回（1202 ~ 04）

インノケンティウス３世　提唱

ヴェネツィア商人先導…**コンスタンティノープル占領**

ラテン帝国の建国（1204 ~ 61）

第５回（1228 ~ 29）…神聖ローマ皇帝フリードリヒ２世（一時　聖地回復）

第６回（1248 ~ 54）…仏王ルイ９世

第７回（1270）…仏王ルイ９世．チュニス（マムルーク朝）

アッコン（十字軍拠点）…マムルーク朝により陥落（1291）

影響

教皇権の失墜…諸侯・騎士の没落…王権の伸長　→　中央集権化促進

東方（レヴァント）貿易　→　**遠隔地貿易**・貨幣経済　進展　→　荘園制の崩壊

〔４〕中世都市

商業の復活（商業ルネサンス．11・12C）

農業技術の改良（**三圃制・重量有輪犂**）…余剰生産物　→　**定期市**の発生

中世都市

コミューン運動（11C～12C）

コムーネ（北伊．12C以降）

帝国都市（**自由都市**．独．14C以降）

「都市の空気は自由にする」

都市同盟

ａ．**ロンバルディア同盟**

ミラノなどの北イタリア諸都市

神聖ローマ帝国（フリードリヒ１世，2世）によるイタリア政策に対抗

ｂ．**ハンザ同盟**（13C～1648：ウェストファリア条約）

リューベックを盟主

在外（４大）商館…ロンドン・ブリュージュ・ベルゲン・ノヴゴロド

ギルド（同業組合）

商人ギルド（11C）…大商人中心

同職ギルド（13C．**ツンフト**）…手工業者が結成　→　ツンフト闘争（14C．独）

遠隔地商業

地中海商業圏…**東方貿易（レヴァント貿易）**

・貿易品…毛織物・銀（アウクスブルク産）⇄　**香辛料**・絹＜贅沢品＞

・海港都市…**ヴェネツィア・ジェノヴァ・ピサ**など…東方貿易

・内陸都市…**フィレンツェ・ミラノ**など…毛織物

・**メディチ家**…フィレンツェの市政を掌握（15C前半）…毛織物・金融

北欧商業圏…**北海・バルト海貿易**

・貿易品…海産物・木材・毛皮・毛織物＜生活必需品＞

・**リューベック・ハンブルク・ブレーメン**（ドイツ）

・**ガン・ブリュージュ（フランドル）**

内陸商業圏

アウクスブルク　フッガー家…アウクスブルクが拠点（銀山　経営）

国際的大市の開催…**シャンパーニュ地方**（12C～14C．パリ東南）

→　ブリュージュ（14C～15C）　→　アントウェルペン（15C～16C）
（アントワープ）

〔5〕封建社会の崩壊

農奴解放

・地代の変化（賦役・貢納）　→　**貨幣地代**（領主直営地の消滅）

・**黒死病**（**ペスト**）の流行（14C）

・**独立自営農民**（英：**ヨーマン**）の出現

封建反動（困窮した領主層の農奴への権力再強化）　→　**農民一揆**

ジャックリーの乱（1358．仏）

ワット＝タイラーの乱（1381．英）　**ジョン＝ボール**…「アダムが耕しイヴが紡いだ時　誰が貴族だったか」

〔6〕教皇権の衰退

アナーニ事件（1303）

聖職者への課税問題…仏王**フィリップ４世**　→　**全国三部会**招集（1302）

教皇**ボニファティウス８世**を捕囚・憤死

教皇のバビロン捕囚（1309 ～ 77）

フィリップ４世…教皇庁を**アヴィニョン**（南仏）へ移す

教会大分裂（**大シスマ**．1378 ～ 1417）

アヴィニョンとローマに教皇の並立

コンスタンツ公会議（1414 ～ 18）で終了．同公会議で宗教改革の先駆が異端

ウィクリフ（オックスフォード大学神学教授．英．14C）が異端

フス（プラハ大学総長．ベーメン）　教皇の権威否定　→　火刑

フス戦争

〔7〕イギリス

①**ノルマン朝**〔1066 ～ 1154〕

・**ウィリアム１世**

②**プランタジネット朝**〔アンジュー朝．1154 ～ 1399〕

a．**ヘンリ２世**（仏アンジュー伯アンリ）

b．リチャード１世…第３回十字軍（対サラディン）

c．**ジョン王**

カンタベリー大司教の叙任権問題

インノケンティウス３世による破門

『**大憲章**（**マグナ＝カルタ**．1215）』の承認

d．**ヘンリ３世**

・**シモン＝ド＝モンフォール**ら貴族の反乱

諮問会議（1265）…**イギリス議会の起源**

e．**エドワード１世**

・**模範議会**（1295）

f．**エドワード３世**（位1327 ～ 77）

・二院制（1341）の成立…**上院**（高位聖職者・大貴族）・**下院**（騎士・市民）

・**百年戦争**（1339 ～ 1453）

〔8〕フランス

①**カペー朝**〔987 ～ 1328〕

a．**ユーグ＝カペー**（**パリ伯**）による創始

b．フィリップ２世

第３回十字軍．英王（**ジョン王**）から大陸の英領の大半を奪う

c．ルイ９世

・アルビジョワ派（カタリ派，南仏）を征服

・第６・７回十字軍遠征

・**ルブルック**をモンゴル帝国へ派遣（カラコルム）

d．**フィリップ４世**

全国三部会招集（1302）

アナーニ事件（1303）　→　**教皇のバビロン捕囚**（1309 ～ 77）

②**ヴァロワ朝**〔1328 ～ 1589〕

フィリップ６世の即位…英（**エドワード３世**）との百年戦争

〔9〕百年戦争（1339 ～ 1453）

フランス王位継承問題…英王**エドワード３世**による継承権主張

経済問題…**フランドル地方**（毛織物）・ギュイエンヌ地方（ブドウ酒）の争奪

英軍（長弓兵の活躍）の優勢…クレシーの戦い（1346．フランドル）で勝利

英エドワード黒太子の活躍…ポワティエの戦い（1356）で勝利

仏…**ペストの流行**（1348 ～ 49）・**ジャックリーの乱**（1358）で混乱

仏ジャンヌ＝ダルクの活躍

イギリス軍に包囲されていた**オルレアン**（**シャルル７世**）を解放（1429）

カレー（英領）を除く領土奪回（1453）

百年戦争後の英仏

フランス

シャルル７世　王権強化

シャルル８世　中央集権化．イタリア戦争（1494 ～ 1559．「主権国家」の概念芽生える）

イギリス

ランカスター朝〔1399 ～ 1461〕　→　ヨーク朝〔1461 ～ 85〕

バラ戦争（1455 ～ 85）

・王位継承争い…**ランカスター家**（紅ばら）　VS　**ヨーク家**（白ばら）

・**ヘンリ７世**（ランカスター家出身）

・**テューダー朝**〔1485 ～ 1603〕創設

第５講　確認問題

次の文章を一箇所だけ訂正し正しい内容の文にせよ。

1　①ローマ＝カトリック教会の教皇権は，②グレゴリウス1世の活躍や修道院運動によって確立した。その後，③ハインリヒ４世が破門された叙任権闘争の過程を経て，“教皇は太陽，皇帝は月”と述べた④ウルバヌス２世の頃に絶頂期を迎えた。

2　教皇①ウルバヌス２世は1095年②クレルモン宗教会議を招集し，聖地奪回の聖戦を起こすことを決議した。翌96年諸侯や騎士からなる第１回十字軍が出発し，1099年③イェルサレムを占領して④ラテン帝国をたてた。

3　①十字軍の影響で交通が発達すると，②遠隔地貿易で発達する都市も現れるようになった。③11 ～ 12世紀に見られるこのような都市や商業の発展を，④商業革命と呼ぶ。

4　①ガン・②ブリュージュなど③シャンパーニュ地方の都市は④毛織物生産で繁栄した。

5　①北ドイツの商業同盟である②カルマル同盟の盟主は③リューベックで，ロンドン・④ベルゲン・ブリュージュ・ノヴゴロドに４大在外商館が置かれた。

6　①14世紀はフランスで②ジャックリーの乱が起こるなど封建社会の崩壊が始まり，また，③ボニファティウス8世が捕らえられたアナーニ事件や教皇庁が④コンスタンツに移された教皇のバビロン捕囚など教皇権が衰退して，王権の強化が進んだ。

7　イギリスの①ジョン王は，フランス国王②フィリップ４世と戦って③フランスの領地の大半を失い，さらに教皇④インノケンティウス３世と争って破門された。

8　①ヘンリ３世が②大憲章を無視したため，③ワット＝タイラーは貴族を率いて反乱をおこし，王を破った。そして以前からあった高位聖職者・大貴族の会議に州や都市の代表を加えて国政を協議した（④1265年）。

9　フランスの①カペー朝の②アンリ４世は，南フランス諸侯の保護を受けた異端の③アルビジョワ派（カタリ派）を平定して王権を④南フランスにも広げた。

解答

1　④→インノケンティウス３世　　2　④→イェルサレム王国

3　④→商業の復活（商業ルネサンス）　　4　③→フランドル地方

5　②→ハンザ同盟　　6　④→アヴィニョン　　7　②→フィリップ２世

8　③→シモン＝ド＝モンフォール　　9　②→ルイ９世